

Newsletter

April 1
2015

Vol.35



2014年度冬留学生フェアウェルパーティにて

巻頭言 国際交流とは？

国際交流センター所長・理学部教授 秋山 隆彦

この4月から国際交流センターの所長を務める事になりました。よろしくお願ひします。

ところで皆さんは「国際交流」と聞いて何を思い浮かべますか？あるいはどのような国際交流を体験したいと思っていますか？それぞれ、異なった考えがあると思います。

積極的に外国に出かける事、例えば、半年から1年間程度外国の大学への留学を希望している人もいれば、1～2ヶ月程度の短期留学を目指している人もいます。あるいは、海外には行かないけれども日本国内での国際交流も可能です。学習院大学に留学している外国人のホストファミリーとなる、あるいは留学生のお世話をしたい、個人的に友人になりたい、など、様々な国際交流が考えられます。もちろん、今では、電子メールやSkype、更にはFacebook、Instagram、LINE、Twitter等のソーシャル・ネットワーキング・サービス等を用いて、外国の友人と連絡をとりあう事はとても容易になりました。

一方、「国際交流」は、英語では通常“international exchange”と訳されます。exchangeは“an act of giving one thing and

receiving another”という意味であり、日本語の「交流」に比べて、更に積極性が強く感じられます。交流する事により、本人のみならず、相手も何か得るものが必要でしょう。

どのような方法であれ、日本人以外の人と交流する機会を作る事により、外国語に親しむ機会が増えるとともに、外国の文化、慣習、歴史等に触れる事ができ、それにより、日本の文化、慣習との違いを実感する良い機会になるでしょう。日本の良さを再確認できる場合もあります。外国の事を知るだけでなく、日本の文化、伝統、地理、歴史等に対する造詣を深める事も、外国人と話をする上で、極めて非常に重要になります。外国人に対して、日本の事を理解してもらうためには、是非とも、日本の事にも詳しくなり、give and takeの関係を築いてください。



海外協定校と新規締結

学習院大学では、平成26年度、オーストラリア及びスペインの大学と、新たに協定を締結しました。

○マードック大学 (オーストラリア) Murdoch University



マードック大学は、西オーストラリア州で2番目に歴史のある大学です。100を超える国から2,000名もの留学生が学んでいます。州内に3つのキャンパス、シンガポールやドバイ等海外にも教育施設を有しています。「2012-2013 QS World University's World Rankings」で上位5%の大学に位置づけられるなど、高い評価を得ています。

創立：1975年 所在地：オーストラリア・パース市他

学生：約22,500名

学部：公共政策、国際関係学、マネジメント、芸術、心理学、実践科学、教育、法学等

○バレンシア大学 (スペイン)

Universitat de València



スペインで最も古い大学のひとつ、バレンシア大学は1499年に創立しました。人文科学、工学、理学、社会学部等を有するキャンパスでは、約53,000名の学生が学んでいます。国際交流も盛んで、世界各国から約2,000名の学生が留学し、1,300名以上の学生が国際交流プログラムに参加しています。

創立：1499年 所在地：スペイン・バレンシア市

学生：約53,000名

学部：人文科学、工学、理学、健康学、社会学等

*一部掲出済の新規協定校は前号をご参照ください。なお、現在インドネシア、カナダ及びアメリカの大学との間で交流協定の新規締結に向けた手続きに入っています。

*最新の協定校一覧は、国際交流センターホームページでご確認いただけます。

平成 26 (2014) 年度春季語学研修の実施について

国際交流センターでは、春季休業期間中に、海外協定校での英語及び中国語研修を実施しました。

●英語研修 エディンバラ大学 (イギリス)

渡航期間：2月17日(火)～3月12日(木)
 研修内容：本学生のためにデザインされた英語レッスンの受講、現地学生との交流、郊外へのフィールドトリップなど
 参加者数：29名



(参加した学生の声)

「到着して初めの頃は英語に對し不安がりましたが、現地の大学の先生やメンターさん、ホストファミリーが優しく接して下さい、心強く思いました。また、授業では様々なトピックについて意見を述べたり、町に出て聞き込み調査後プレゼンテーションをしたりと、実践的な英語を中心に学び、とても充実した日々を過ごしました。」
 (生命科学科1年 山田真子さん)

●中国語研修 淡江大学 (台湾・新北市)

渡航期間：2月28日(土)～3月14日(土)
 研修内容：レベル別に分かれた中国語レッスン受講、現地学生との交流、郊外へのフィールドトリップなど
 参加者数：7名



(参加した学生の声)

「通常の授業の他に、実際に体験して文化を学ぶ授業や、台北に行って古い町並みや龍山寺、台北101などを見学するカリキュラムもあり、台湾が好きになれる機会にもなります。」

(哲学科2年 石黒大智さん)

平成 27 (2015) 年度夏季語学研修実施について

国際交流センターでは、平成27年度夏季休業期間中に、海外協定校及び国内英語教育機関での語学研修を、下記のとおり実施します。

	行き先	研修先	参加人数	日程(※)	備考
英語研修	イギリス	ヨーク大学	30名以内	3週間程度	平成27年度基礎教養科目対象
	日本・福島県	ブリティッシュヒルズ	30名程度	2泊3日	国内の英語教育施設
韓国語研修	韓国	東国대학교	10名程度	2週間程度	

※日程の詳細は、4月以降、センターホームページ、G-Port及び掲示で公示いたします。

平成 26 (2014) 年度2学期留学生イベント

●留学生バス旅行の実施

平成26年10月17日(金)に、栃木県益子方面への留学生バス旅行を実施しました。旅行には、本学の留学生40名、高等科留学生2名、及びセンタースタッフ2名の計44名が参加しました。益子地域の伝統工芸である益子焼の絵付けを体験し、午後には日本最古の学校である足利学校を見学しました。
 ※平成27年度留学生バス旅行は、5月、10月に実施予定です。



(足利学校前にて)



(絵付けに取り組む留学生)

■留学生書道体験教室の実施

平成26年12月17日(水)に、留学生書道体験教室を実施しました。体験教室には、本学の留学生18名、高等科の留学生2名、及び本年度協定留学に出発予定の日本人学生3名が参加しました。また、本学書道部員とセンターボランティアの日本人学生が協力してくれました。留学生は、墨造りや実演にも真剣に取り組み、最後には、留学生一人ひとりが選んだ「私の好きな文字」を、色紙に清書しました。留学生たちの作品は、センター前に掲示されています。



(お手本を見て練習中)



(書道部員さんの実演に注目)

(留学生からの声)

「いろんな場所に行き、経験が出来て本当に嬉しかったです。また、ぜひ参加したいです！」
 (東呉大学からの協定留学生 ライ シガン 頼 思含さん)

●留学生文楽鑑賞教室実施

平成26年12月6日(土)に、留学生文楽鑑賞教室を実施しました。本学留学生16名、高等科の留学生1名、及びセンターボランティアの日本人学生4名が参加しました。本教室では、文楽の見方についてレクチャーを受け、演目「二人三番叟」と「絵本太功記」を鑑賞しました。



(国立劇場前にて)



(それぞれの色紙を胸に記念撮影)

(留学生からの声)

「とっても楽しかったです。(書きたい文字に)『心』を選んだのは、大事なことからです。『興』の漢字は、形が建物みたいで面白いので、選びました。」
 (ナポリ東洋大学からの協定留学生 オペレット・セレーナさん)

■冬のフェアウェルパーティの実施

平成 27 年 1 月 30 日（金）に、3 月で終了、卒業予定の留学生の歓送として、フェアウェルパーティを実施しました。パーティには、協定留学生、私費留学生を含め、ボランティアの日本人学生や、平成 27 年度協定校への派遣が決まった学生など、40 名が集い、和やかな交流のひと時を楽しみました。



（協定留学生からの声）

“The biggest help I received was from my buddies. They helped me with paying the rent, buying the subway ticket, going to the ward office.... Very soon they become good friends and we also did some trips and spent time while exploring Tokyo.”

（マンハイム大学からの協定留学生
フェアセン・サブリナさんからの声）

■留学生短期ホームステイプログラムの実施

平成 26 年度の春季休業中に、アイスランドからの協定留学生 2 名が、センターのボランティアに登録している日本人学生のご家庭へのホームステイに参加しました。

（参加した留学生の声）

「横浜にホームステイしました。1 週間しかいないけどたくさんのごちそうをいただきました。鎌倉やお台場に行きました。新しい友達を作れました。私のホストファミリーはとても優しく、楽しかったです。すごく嬉しくなりました。もう一回したいです！」

（アイスランド大学からの協定留学生ヘイミストツィル・テルマ ルンさん）



（ホストファミリーをした学生の声）

「1 週間のホームステイを通じてとても大事な友達を作ることができます。勉強熱心な留学生との生活はとても刺激的で、日本や自分自身を見つめなおすきっかけにもなると思います。」

（政治学科 3 年 芥川晴香さん）



※第 1 学期中に国際交流センターが主催した留学生イベントは、前号及び、センターの Facebook ページで見ることができます。

予 告

平成 27 年度夏季休業中も、「留学生短期ホームステイプログラム」を実施いたします。

ホストファミリー募集の詳細は、4 月以降、センターホームページ、G-Port、及び掲示で公示します。

※本プログラムは、国際交流センターボランティアに登録している学生さんを対象としています。

（登録は、センターの窓口で行えますので、お気軽にお越しください。）

※本プログラム参加者は「学習院大学ボランティア短期ホームステイ活動奨励金」の対象となります。

平成 27 (2015) 年度第 1 期の協定留学プログラムによる派遣学生

（留学期間：平成 27 (2015) 年 4 月～翌年 3 月）

派遣先大学	派遣学生
オーストラリア国立大学 （オーストラリア）	経済学科 2 年 高橋 勲功
ニューサウスウェールズ大学 （オーストラリア）	経済学科 2 年 佐藤 理沙
マドック大学 （オーストラリア）	英語英米文化学科 3 年 橋本 菜摘
	政治学科 2 年 人見 英
ウェリントン・ヴィクトリア大学 （ニュージーランド）	英語英米文化学科 3 年 藤藤 浩一

平成 27 (2015) 年度第 1 期の協定留学プログラムによる派遣学生の一言

「僕が初めて留学を考え始めた時は「英語ペラペラに喋れたらカッコいいだろうな」という漠然とした夢だったのですが、時間が経つにつれ鮮明になっていきました。もちろん簡単なことではなく、オーストラリア国立大学への留学に必要な語学試験のスコアがとれず低迷した時期もありましたが、その時期に勉強した英語も何一つ無駄にはなりません。長いようで短い 1 年間の留学生活で、可能な限りの事を吸収して帰ってくる覚悟です。

新しいことを始めるのは期待より不安の方が大きいのは事実ですが、絶対に諦めない強い気持ちを持ち、少しずつ計画を立てれば、必ず成功すると僕は確信しています。

人生も大学生活も 1 度きりです、今少しでも協定留学に興味を持っている方がいれば、後悔しないためにも挑戦してみることをお勧めします！」（オーストラリア国立大学派遣 経済学科 2 年 高橋勲功さん）



■ 海外協定校からの留学生紹介

平成 27 (2015) 年 4 月より、学習院大学での留学を開始した協定校からの留学生を紹介します。

協定校	氏名	学習院での所属	留学期間
北京外国語大学 （中国）	盧 函（ロ カン）	日本語日文学科	1 年間
	周 佩文（シュウ ハイブン）	経営学科	1 年間
慶北大学校（韓国）	崔 志珉（チェ ジミン）	日本語日文学科	1 年間
	金 昭珍（キム ソジン）	日本語日文学科	1 年間
東国大学校（韓国）	宋 赫圭（ソン ヒョークユ）	経済学科	1 年間
東呉大学（台湾）	吳 嘉好（ゴ カヨ）	日本語日文学科	半年間
淡江大学（台湾）	王 梨瑩（オウ リーイン）	日本語日文学科	1 年間
	張 雅涵（チョウ ガカン）	経営学科	1 年間

協定校	氏名	学習院での所属	留学期間
ウェリントン・ヴィクトリア大学 （ニュージーランド）	LLOYD, OSCAR WILLIS ASHMAN （ロイド オスカーウィリス アシメーン）	日本語日文学科	1 年間
リヨン政治学院 （フランス）	SCHMITT, MARIANNE CLAIRE ALICE （シュミット マリアヌ ク ラー アリス）	政治学研究科	半年間
	TCHERKASSOF, EVO- LENE ENORA TATIANA YOLANDE （チェルカソフ エヴォレン エノラ タチアナ ヨランダ）	政治学研究科	1 年間

※国際交流センターでは、4 月に留学を開始した協定留学生及び新入生私費留学生の歓迎をかね、春の留学生懇親会を 4 月下旬に開催します。

■平成 28 (2016) 年度 第 1 期協定留学プログラム派遣学生募集

本年度 5 月頃、平成 28 (2016) 年度第 1 期協定留学プログラム (留学期間: 2016 年 4 月～翌年 3 月 / 派遣先: アジア・オセアニア) の募集を行います。募集要項は国際交流センターホームページ、G-Port、及び掲示等で公示しますので、確認してください。

なお、本プログラムで留学した先輩方の体験談をセンター内で閲覧することができます。センターのホームページでも公開しておりますので、ぜひご利用ください。

(http://www.gakushuin.ac.jp/univ/cie/senpai_message.html 「留学した先輩からのメッセージ」をご確認ください)

■海外留学のための奨学金制度について (※本制度は次年度以降改編を予定しています)

本学では、留学に伴う経済的負担を軽減し、少しでも多くの学生に留学を経験してもらうことを目的として、「学習院大学海外留学奨学金・奨励金」をはじめとした、さまざまな制度を設けています。

学習院大学海外留学奨学金

応募条件: 「留学願」が承認されている者、又は承認されることが見込まれる者

奨学金額: 1 名につき 50 万円以内 (給付)

募集人数: 年 28 名程度 (平成 26 年度採用実績 32 名)

募集時期: 年 2 回 (12・6 月)

学習院大学海外留学奨励金

給付条件: 「海外留学奨学金」受給者のうち、特に優秀な者

奨励金額: 1 名につき 10 万円以内 (給付)

採用人数: 年 10 名程度 (平成 26 年度採用実績 10 名)

平成 27 年度に留学を開始する方を対象とした第 2 回目の募集 (上記「募集時期」6 月の回) については、募集要項を 5 月にセンターホームページ、G-Port、及び掲示等で公示する予定です (平成 27 年度第 1 回の募集は終了しました)。

なお、本奨学金を受給した先輩方の留学体験記 (協定留学・協定外留学) が、センターにて閲覧できます。

TOEFL® iBT / IELTS™ 受験の助成

応募条件: TOEFL iBT 又は IELTS を受験した者

助成金額: 1 名につき 1 万円以内 (給付)

募集人数: 年間 50 名以内 (平成 26 年度採用実績 34 名)

募集時期: 年 2 回 (6 月、12 月)

大学院学生国外研究発表援助

応募条件: 国外における研究会等で発表を行う大学院生 (共同発表を含む)

奨学金額: 1 名につき、10 万円以内 (給付)

募集人数: 20 名程度 (平成 26 年度採用実績 19 名)

募集時期: 年 1 回 (12 月上旬予定)

※募集内容や応募条件等については、センターホームページ等で確認してください。

～その他の奨学金～

○学習院大学海外短期語学研修奨学金

○学習院大学春季語学研修奨学金

詳細についてはセンターホームページや掲示等でご確認ください。

■平成 27 年度基礎教養科目について

国際交流センターでは、基礎教養科目「英語で学ぶ日本事情」及び、「海外語学研修」を開講しています。

○「英語で学ぶ日本事情—Introduction to Japanese Culture, Society, and Scientific Research」…日本文化、社会、科学等の科目のオムニバス形式の授業を英語で学べます。海外協定校からの留学生及び一部の私費留学生を対象としていますが、海外協定校への留学を予定する日本人学生にもお勧めです。

○「海外語学研修」…夏季に行われる国際交流センター主催「海外語学研修」に参加し、海外の言語・文化・社会等について学ぶことで、実践的なコミュニケーションスキルと適応力を身に付けます。

※平成 27 年度は、夏季休業中実施予定の英語研修 (ヨーク大学) を対象とします。

■TOEFL® 対策コース及び IELTS™ 対策講座について

国際交流センターでは、英語圏への留学を目指す学生の支援として、TOEFL® 対策コース及び IELTS™ 対策講座を開講しています。

「TOEFL 対策コース」…e-learning (インターネットプログラム) による TOEFL 試験対策

「IELTS 対策講座」…ネイティブの講師によるテーマ別授業

※上記の詳細は、4 月以降、センターホームページ、G-Port、及び掲示で公示いたします。

■平成 27 年度 第 1 回留学フェアのお知らせ

国際交流センターでは、留学や国際交流に関心がある学生のための「留学フェア」を年 2 回開催しています。

フェア期間中は、英語圏留学に必要な TOEFL・IELTS の説明会、本学協定校からの留学生とのチャットタイム、及び協定留学体験者による留学相談タイムなど、自由に参加できる催しとなっています。

本年度第 1 回フェアの詳細については、センターホームページ、G-Port、及び掲示等で公示します。



(平成 26 年度 第 2 回留学フェアの様子)

News letter

April 1
2015
Vol. 35

発行日 / 2015 年 4 月 1 日

編集・発行 / 学習院大学国際交流センター

〒171-8588 東京都豊島区目白 1-5-1

TEL.03-5992-1024 FAX.03-5992-1025

<http://www.gakushuin.ac.jp/univ/cie/>

(「学習院 CIE」などで検索してもヒットします)

※掲載された学生の学科・学年は、平成 27 年 3 月末時点のものです。

【編集後記】

国際交流センターでは、平成 26 年度、留学生が日本人学生の家庭で過ごす「短期ホームステイプログラム」、英語圏への留学を目指す学生の経済支援の一環としての「TOEFL/IELTS 受験の助成」、及び留学生と留学を目指す日本人学生が共に英語で受講できる基礎教養科目の開講といった事業を新たに実施してきました。新年度も、これらに続き、留学のためのさまざまな支援制度や、日本人学生と留学生の国際交流・異文化理解のためのプログラムづくりを行う予定です。新入生の皆さんも在学生の皆さんも、ぜひお気軽にセンターにお立ち寄りください。

【平成 27 年度国際交流センター運営委員】

所 長 秋山 隆彦 (理学部)

運営委員 小塚 荘一郎 (法学部)

〃 森田 道也 (経済学部)

〃 金田 智子 (文学部)

〃 高橋 利宏 (理学部)

〃 荒川 一郎 (副学長)

〃 常岡 孝好 (学生センター所長)

〃 宮澤 文玄 (国際交流センター課長)